

第3回まちづくりに関する提案

提案タイトル 「博多ならやれる！～HAKATA NARAYA RAIL PROJECT～」

この「博多ならやれる！」は、九州最大都市である福岡市の2大都心「天神」と「博多」をつなぐことをテーマに、九州大学大学院工学府の学生が提案したものです。私たちは、この天神と博多を含む広いエリアから博多の奈良屋地区に焦点を絞り、この地域が「人が住むことで生まれる魅力」を大切にしまちとして生まれ変わることで、博多、ひいては福岡全体の活性化につながると考えました。

今回「”人が住む“博多」をコンセプトに人々が住みたくなるまちビジョンを設定し、まちなみ整備、公園の整備、BID制度による仕組みづくりの3プロジェクトの提案を行います。

博多と天神をつなぐ

～博多を都心居住地域と見なして～

concept

コンパクトな都心の市街地、豊かな自然環境、そして地域独自の歴史遺産や文化。私たちは、福岡がこれらの要素を備えた快適な都心居住に適した都市であると考えます。以下に説明する、「人が住む博多」というコンセプトのもと、都心部に人が自然や歴史・文化と触れ合いながら快適に暮らすことのできる都市が、私たちの理想の福岡です。

福岡の都心部は大きく分けて天神と博多の2つの地区で構成されています。天神は福岡における政治・経済の中心地区として賑わっていますが、博多 (figure.1) は人口の減少と高齢化が進行して逆に賑わいは減退しています。しかし、博多は福岡が育んできた歴史や文化が今も感じられる地域であり、加えて山笠を支える地域のコミュニティ、博多港・那珂川の水辺があります。それらは良質な都心居住の環境となりうるポテンシャルであり、都心居住地域となることのメリットであると考えます (figure.2)。そこで提案のコンセプトを「人が住む博多」とし、快適な都心居住に適すると思われる奈良屋地区に焦点を絞って3つのプロジェクト (1.まちなみの整備、2.水辺の公園、3.BID制度の導入) を提案します (figure.3)。

奈良屋地区が都心居住に適した地域として生まれ変わることで、博多が人が暮らす魅力をもった場所となることを目指します。福岡を構成する天神と博多がそれぞれ異なる魅力をもつことで都市全体が活性化するのがです。

figure.1 Focused place



figure.2 Potential of Hakata

“人が住む”博多

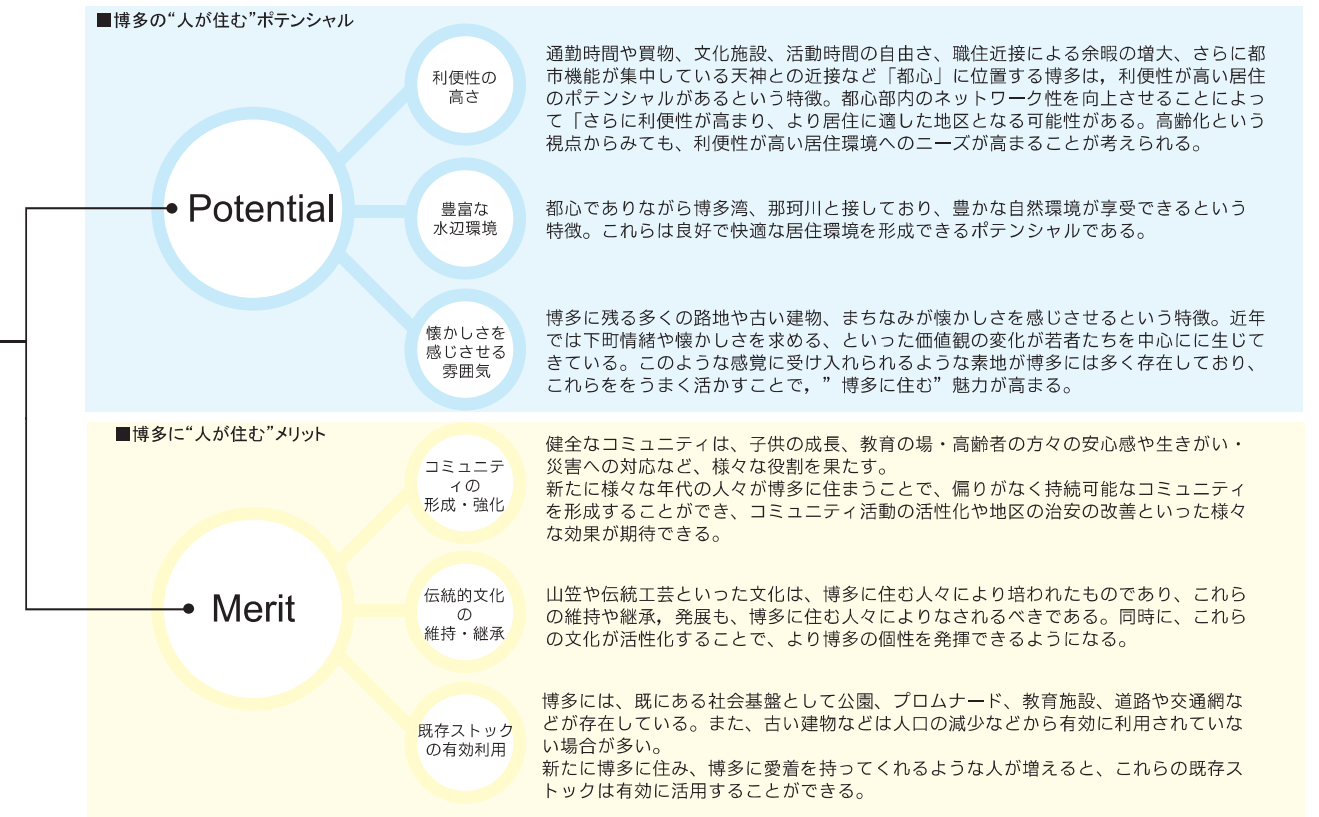
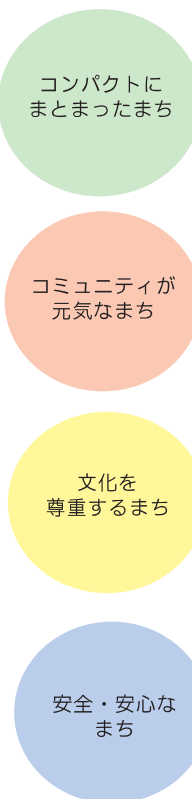
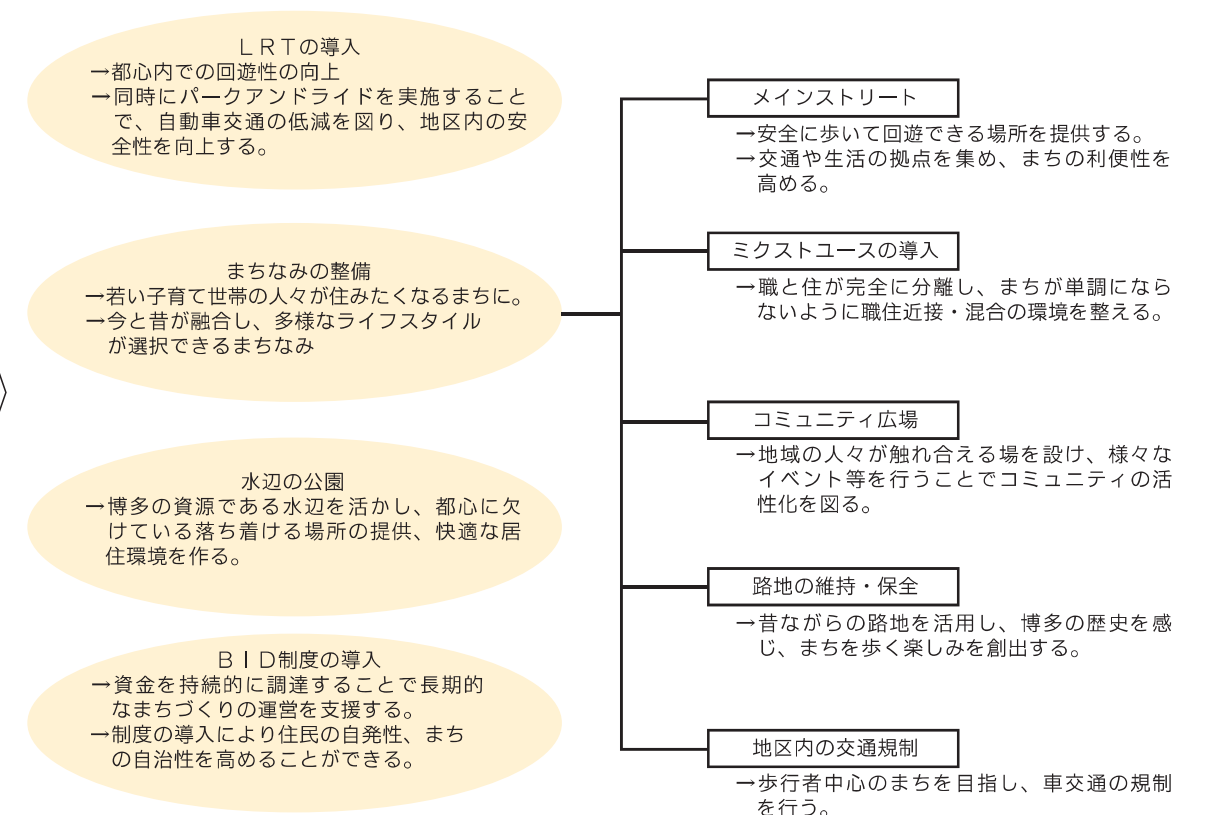


figure.3 Town Vision

まちビジョン



プロジェクトとその主な目的



博多と天神をつなぐ

～博多を都心居住地域と見なして～

Project

水辺オープンスペースの活用

博多部は、昔から博多湾との関係が深く、また福岡市を代表する河川『那珂川』の河口部に位置しており、水辺の町として発展してきました。しかし、現在は那珂川やその支流の博多川ではコンクリート護岸により人を水辺から遠ざけるような作りになっていたり、博多夢回廊のような川辺を歩ける護岸施設が存在するものの、親水性や連続性に欠け、水辺に近いというこの地区特有のポテンシャルを十分に生かしてない現状にあります。都市内における水辺は自然に触れることができる貴重な場所です。そこで私たちは図に示すような4つの地区を、現在存在する公共施設等を利用しながら、水辺を感じられるような空間として再整備していくことにより、奈良屋地区をはじめとする周辺地域の魅力や生活環境の向上を促そうと考えました。那珂川を挟んだ、都市内では稀に見る巨大な都市水辺公園を提案し、最終的には天神と博多の両側から人が那珂川に集まり、日常生活において水辺を実感できるような場所にしていきます。

天神わいわいゾーン(須崎公園周辺)

須崎公園を那珂川まで拡張し、既存の県立美術館や福岡市民会館を取り込んだ親水性の高い都市公園として整備します。公園内には川へと降りられる開放的な親水護岸や、池や小川、雑木林を作ります。池内には水上演劇場を設置し、演劇やコンサートなどのイベントを行ったりと賑やかな場所を、雑木林には散策路を設け、都心の中とは思えないような落ち着いた場所としたりと多様な雰囲気をもった公園とします。



奈良屋のびのびゾーン(博多中学校周辺)

博多中学校の北側の一区画を川の見える大きな芝の広場として整備し、博多中学校の校庭を含めて奈良屋地区の住民のための公園とします。水辺に沿って水辺てくてくゾーンからボードウォークを連続させたり、奈良屋メインストリートとの交点に川を見ながら憩える休憩所やレストラン等を設置し、リバレイン博多方面から海辺への回遊性の向上を図ります。

水辺てくてくゾーン(博多川右岸部)

この地区は川岸に道路が走っているため、建物の正面が川側に開けた作りとなっています。そこで、交通量の少ないこの道路を廃止し、一段低い水辺に近いボードウォークと、建物の前庭的な利用を促す芝の広場という2つの要素を取り入れ、それを緩やかな芝の坂でつなぎ、立体的な空間として利用します。建物は1階に商業店舗を入れるように確約し、芝の広場は建物から連続したオープンカフェや露店感覚での利用ができるようにし、博多リバレインからの連続した、歩いて楽しい水辺空間を作っていきます。

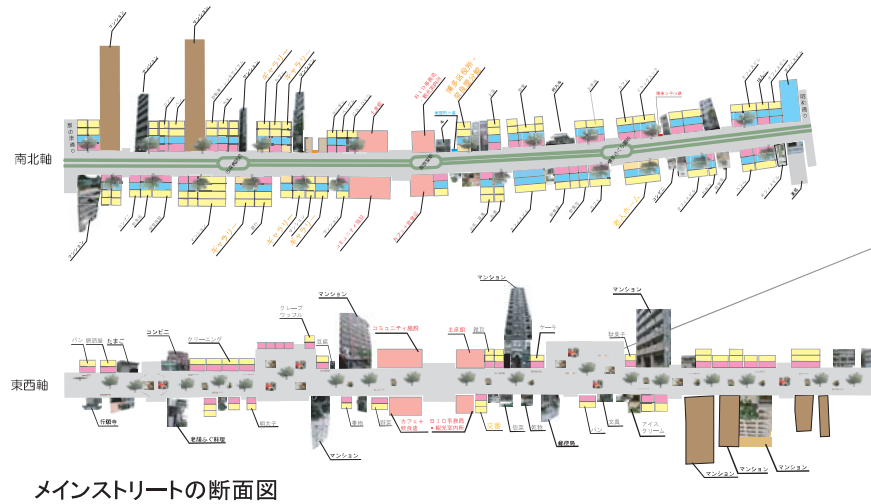


福博を見守るゾーン(中洲・中島町)

那珂川と博多川の合流点にあたる中洲・中島町の取水場を建替える際には、屋上を展望台として開放し、中島公園と一体化した公園として整備します。この場所からは福岡部と博多部の両側の連続した川沿いの広場や、海の方角には博多のランドマーク、ポートタワーを望むことができます。

BID制度の導入

BIDとは、Business Improvement Districtの略称で、BID対象地域内の地権者や商店主、不動産事業者から一定額の負担金(特別税)を徴収し、その資金を地域の活性化事業に活用する仕組みのことです。この制度を、奈良屋地区に導入し、その制度の中心組織としてNDS(奈良屋デザインスタジオ)を立ち上げます。NDSの特徴は、地権者や商店主だけでなく、この古きよき博多を知る住民やその他の地域の関係者、新しく地域に住まうことになる住民など地元の人々を中心とし、この組織が地元とのコンセンサスの形成の一役を担い、さらにまちで実施される事業については、その地域に住まう人々の希望を尊重し、反映するようにします。こうして、まちづくりの事業者と住民との間に一体感が生まれ、魅力的なまちが生まれます。この資金は、今回提案するオープンスペース創出やまちなみ整備にも使われます。オープンスペースでは各ゾーンの維持管理費の補助など、まちなみ整備では新しい通学路への植樹や駐車場の維持管理、広場での各種イベントの企画・実施などが挙げられます。



奈良屋地区の新しいまちなみコンセプト

奈良屋地区のまちなみ整備では、若い家族世代の人を中心に新たな人を住ませるため、まず郊外にない魅力を創出すること、地域内に点在する歴史的要素をうまく取り入れ、今と昔が融合したまちをめざすことをコンセプトとしています。このコンセプトのもと、メインストリートの創出、広場の創出など、奈良屋地区内の新たなまちなみ創出のための8つの案を提案します。

広場の創出と活用

地区内の交流はさることながら、地区外との交流の拠点として機能させ、地域活動の発表の場、非日常的なイベントの場としてにぎわい空間を演出します。

メインストリートの創出

地区内外を問わず、人が自由に安全に歩いて回遊できる空間を提供し、にぎわいの創出をねらうとともに、南北はLRTを中心とした地区内の交通拠点として、東西は魚屋や肉屋、八百屋など住民の生活を支える拠点としての機能をストリート全体で持たせます。

路地の創出と活用

昔ながらの路地を活かして、博多の味と歴史の感じられる空間を演出するとともに、夜は閑静な中の小さなふれあいスポットとして役立たせます。また、それぞれの路地には「博多っ子小路」「美容院小路」「子ども小路」とテーマを定め、既存の低層住宅をリノベーションして、路地ごとの特色ができるようにします。

広幅員街路に面した地区の高層建築の提案

高さのそろった建物による整ったまちなみ形成をめざすとともに、地価の高いエリアであるため高層建築によって土地を有効に活用し、その機能を昭和通りに面するエリアは業務地区、大博通りに面するエリアは新興住宅地区のように周辺エリアの土地利用の応じたものとする事で、周辺となじんだ奈良屋地区をつくります。

地区内住宅の提案

地区の全体コンセプトである「今と昔の融合」を目指して、建物のリユースや新しい住宅は低層マンションや戸建住宅を建設すめ、まちなみを崩すような高層マンションなどの建設には制限をかけ、整った住みやすいまちをめざします。

新しい駐車場システムの導入

モータリゼーション化した今日において、主要な問題であるが、地区内では散在する駐車場を何箇所かにまとめることで、土地の有効活用整ったまちなみをめざします。

新しい地区内交通の提案

一方通行などを用いて地区内の交通規制を適正に定め、周囲の公共機関との連携を取ることで、安全な歩行を中心としたまちの形成をめざし、快適性と利便性の両方が満たされるシステムをつくります。

新たな通学路を創出

小さな子どもを持つ家族世帯の居住を目指すため、安全で楽しい通学路をつくります。同時に、通学路の街路樹整備や歩道の植木設置などによるみどりの回廊創出をめざし、子どもたちが登下校中に楽しみながら四季の草花学習などを行えるようにします。